

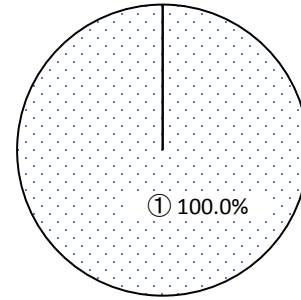
3. 輸血検査

設問20 以下の検査結果の報告は口頭ではなく文書(電子データも含む)で行われていますか。

ABO血液型検査

	199床 以下	200～ 499床	500床 以上	全体
①行われている	16	65	22	103
②行われていない	0	0	0	0
計	16	65	22	103

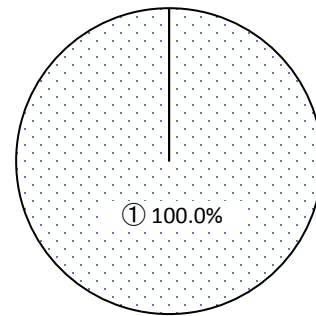
<全体>



Rho(D)抗原検査

	199床 以下	200～ 499床	500床 以上	全体
①行われている	16	65	22	103
②行われていない	0	0	0	0
計	16	65	22	103

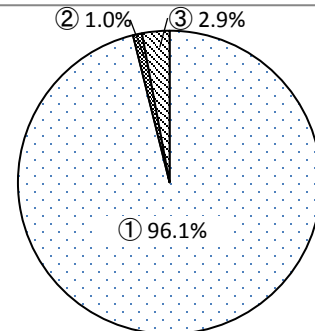
<全体>



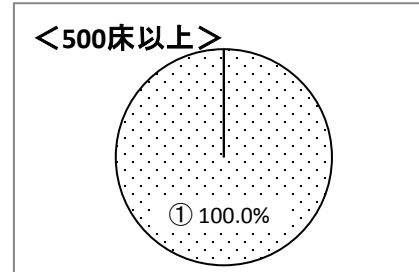
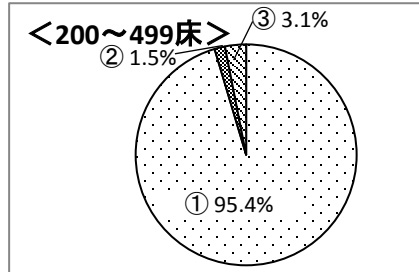
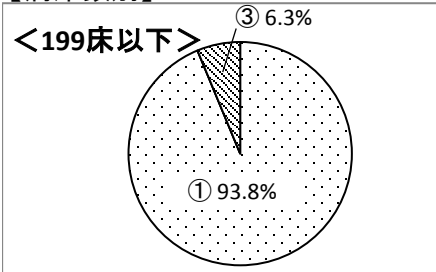
不規則抗体スクリーニング

	199床 以下	200～ 499床	500床 以上	全体
①行われている	15	62	22	99
②行われていない	0	1	0	1
③未回答	1	2	0	3
計	16	65	22	103

<全体>

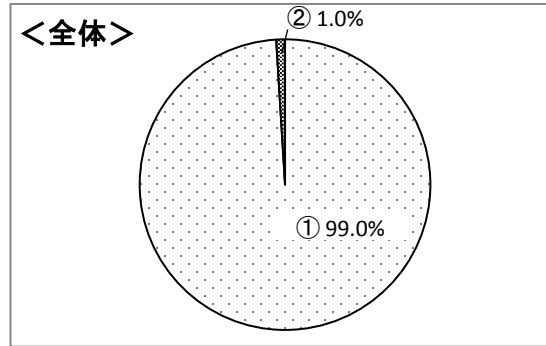


【病床数別】

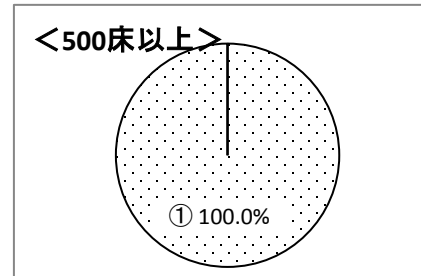
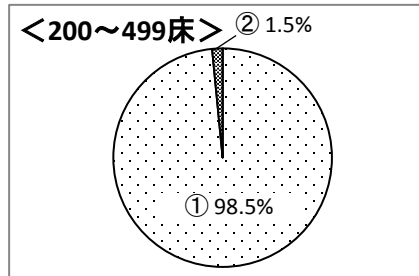
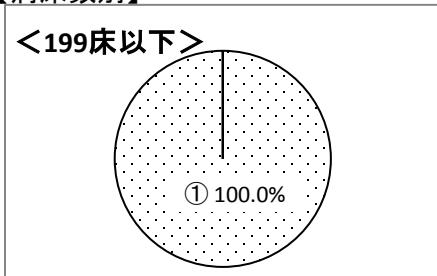


交差適合試験

	199床 以下	200～ 499床	500床 以上	全体
①行われている	16	64	22	102
②行われていない	0	1	0	1
③未回答	0	0	0	0
計	16	65	22	103

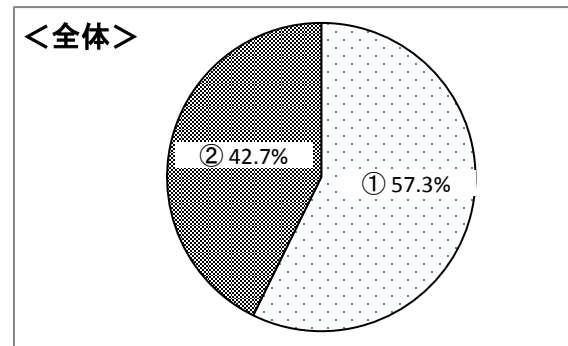


【病床数別】

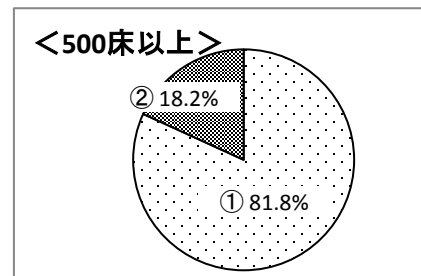
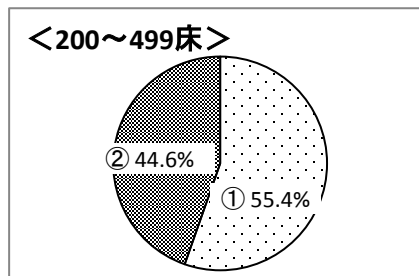
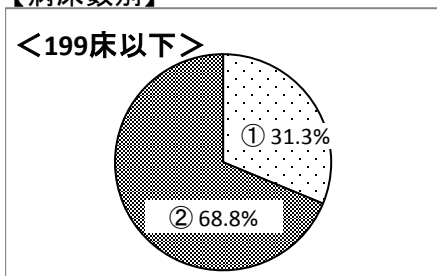


設問21 異型適合血輸血を実施したことがありますか。

	199床 以下	200～ 499床	500床 以上	全体
①はい	5	36	18	59
②いいえ	11	29	4	44
計	16	65	22	103



【病床数別】

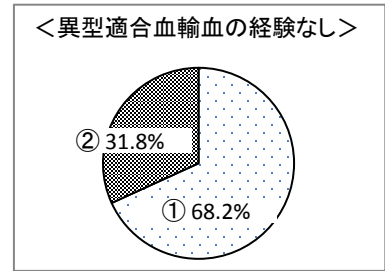
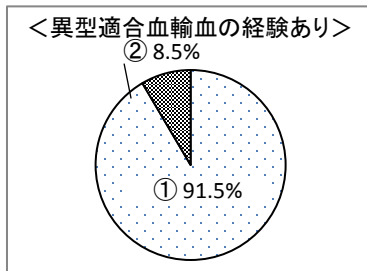


【参考】異型適合血輸血の実施経験と各手順書の整備状況

緊急時、大量出血時の手順書の作成状況(設問8コ)および異型適合血輸血の手順書の作成状況(設問8サ)を異型適合血輸血の実施経験の有無(設問21)で比較

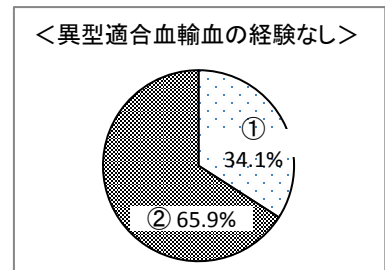
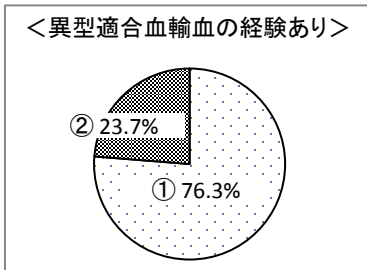
<緊急時、大量出血時の手順書の作成>

異型適合血輸血	手順書の作成	全体
実施経験あり	①作成している	54
	②作成していない	5
実施経験なし	①作成している	30
	②作成していない	14
計		103



<異型適合血輸血の手順書の作成>

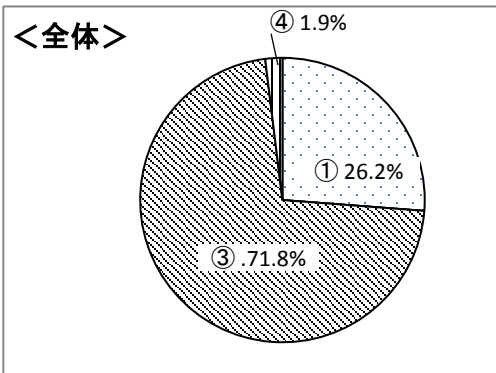
異型適合血輸血	手順書の作成	全体
実施経験あり	①作成している	45
	②作成していない	14
実施経験なし	①作成している	15
	②作成していない	29
計		103



設問22 コンピュータクロスマッチを行う場合は、以下のことをすべて満たしていますか。

- 1)結果の不一致や製剤の選択が誤っている場合に警告を発すること
- 2)患者の血液型が2回以上異なる検体により確認されていること
- 3)輸血用血液製剤の血液型が再確認されていること
- 4)手順書が整備されていること(輸血基準書に記載されていることも含む)

	199床以下	200~499床	500床以上	全体
① はい	0	16	11	27
② いいえ(コンピュータクロスマッチを行う場合)	0	0	0	0
③ コンピュータクロスマッチは行わない	15	48	11	74
④ 未回答	1	1	0	2
計	16	65	22	103



【病床数別】

